

【Press Release】

2011年4月19日

プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社

本資料は、米金融機関プリンシパル・ファイナンシャル・グループが発表したプレスリリース(「[Principal Global Investors to Acquire Majority Stake in Finisterre Capital](#)」)(米国時間 2011年4月18日発表)の翻訳です。

米資産運用会社プリンシパル・グローバル・インベスターズ、 新興国債券に特化した運用会社 Finisterre Capital 社を買収

(2011年4月18日 – 米国アイオワ州デモイン発)

世界的大手金融グループ、米プリンシパル・ファイナンシャル・グループ(NYSE: PFG)傘下の米資産運用会社、プリンシパル・グローバル・インベスターズ(PGI)は、本日、新興国債券運用を専門とする Finisterre Capital 社(本社: 英国ロンドン)の株式の過半数を取得することで正式に合意したことを発表しました。金額を含む買収条件は非公表です。

PGI 最高経営責任者のジム・マコーガンは次のように述べています。「Finisterre Capital 社は新興国債券に特化し高い運用実績を誇る、この分野では世界でも屈指の専門家集団です。今回の買収は、新興国債券という投資ニーズの高まるアセットクラスにおいて、我々の運用力の強化を通じ、ビジネスをさらに発展させる素晴らしい機会となることでしょう。新興国市場への投資熱は現在も非常に活発で、今後も市場の発展とともにその傾向は一層強まると確信しています」。

2002年に設立された Finisterre Capital 社の運用資産残高は、約 16 億 3 千万米ドル¹(約 1,350 億円²)で、「Global Opportunity fund」、「Sovereign Debt Fund」、「Credit Fund」という 3 ファンドを運用しています。また、同社のパートナー5名 (Frode Foss-Skiftesvik, Paul Crean, Rafaël Biosse Duplan, Xavier Corin-Mick, Yan Swiderski) も少数株主として、引き続き業務管理および投資決定への関与を含め、ビジネスに携わっていくことで合意しています。

Finisterre Capital 社の最高投資責任者であるポール・クリンは、「この度の PGI との戦略的提携は、当社独自の運用スタイルを保ちつつ顧客に安定した運営体制を約束できるという点で非常に魅力的なものです。今後も自分たちの専門性や組織体系、そして固有の投資姿勢を貫きつつ、事業能力を拡充していくことが可能となるでしょう」と述べています。

今回の買収により、PGI は新興国投資において、既存サービスを補完する新たな商品や戦略の提供を通じ同分野での運用能力を高め、同社の事業戦略でもあり、既に確立されたマルチ・ブティック・モデルをさらに推進していきます。また、Finisterre Capital 社は、PGI の世界的な地位や販路、さらに同社の商品開発力や定評のあるサポート体制を活用できることとなります。

¹ 2011年4月1日現在

² 1米ドル 83.0円で換算(2011年4月18日現在)

今回の買収は、当局の承認を待ち今年度第 3 四半期の早期の完了を見込んでいます。PFG では今年度、およそ 7 億米ドル(約 580 億円²)を戦略的投資や自社株買いに費やす計画で、本買収はその資本政策の一環です。なお、PFG では本買収を受けて 2011 年の EPS(一株当たり利益)予想は据え置くものの、2012 年には増加すると見込んでいます。

プリンシパル社が発信する最新情報(英語)はツイッターでもご覧いただけます。
<http://twitter.com/ThePrincipal>.

将来予想に関する記述および注意書き

本プレスリリースには、将来予想に関する記述が含まれております。営業利益、普通株主に分配可能な純利益、当基準キャッシュフローの実現および未実現損益、資本と流動性ポジション、売上と収益の動向、経営者の哲学、予想、目的および意見を含みますが、これらに限定されません。弊社は結果として不正確となる可能性がある将来の状況に関する多くの想定に基づいて記述内容を更新あるいは修正を行うことはありません。将来事象や企業への影響が予想外である可能性、また実際の結果が本記述で予想した結果と著しく異なる可能性があります。リスク、不確実性およびかかる著しい差異をもたらす、あるいは寄与する要因には、2010 年 12 月 31 日付で弊社が米証券取引委員会(SEC)に提出した Form 10-K の年次報告書に記載のリスクが含まれますが、これらに限定されません。本年次報告書は、更新あるいは補足されることがあります。これらリスクや不確実性には、次のようなものが含まれます。流動性のニーズ、資本へのアクセスおよび資本コストの各要件を満たす能力に著しい影響を及ぼす可能性がある資本市場および信用市場の悪化、弊社が早期改善を見込んでいない、弊社の事業および業績に著しい影響を及ぼす可能性のあるグローバルの資本市場および経済全般の厳しい状況、米国政府、FRB(連邦準備制度理事会)およびその他政府機関および当局が金融市場の安定化を図り取った措置による意図しない効果、営業権および/あるいは買収時点での無形資産の価値に損害をもたらす可能性のある新規事業の買収リスク、弊社に悪影響をもたらす可能性のある他の金融機関の損失、弊社の投資資産価値およびお客様の投資リターンに損害を与える可能性があり、売上、収益、運用資産および純利益の損失をもたらす可能性のある投資リスク、特定の資産の市場価値の減少による担保供与もしくは金銭の支払いの必要性が弊社の流動性に悪影響を与え、弊社がカウンターパーティ・クレジット・リスクに曝される可能性、弊社の収益を減少させるような法律、規則および会計基準の改正、弊社の収益を減少させるような為替変動、プリンシパル・ファイナンシャル・グループが持ち株会社として債務支払い義務を有する子会社からの配当金に依存していること、子会社のかかる配当金の支払い能力に関する規制、競争要因、金融市場の変動、格付けの引下げ、金利変動、営業社員の保持、国際ビジネスリスク、流行病、テロ、大惨事、弊社の再保険者の債務不履行

プリンシパル・ファイナンシャル・グループについて

プリンシパル・ファイナンシャル・グループ(「The Principal Financial Group[®]」および「The Principal[®]」)は世界有数のグローバル金融サービス機関であり、傘下の会社を通じて個人や法人の投資家に対してリタイアメント・サービス、資産運用、保険等の様々な金融商品ならびにサービスを提供しています。プリンシパル・ファイナンシャル・グループは米フォーチュン誌「フォーチュン 500」の一角を占め、アジア、オーストラリア、ヨーロッパ、ラテンアメリカおよび米国に配置された世界の拠点から総額 3,188 億米ドル(約 26 兆円²)にのぼる資産を運用しています。URL: <http://www.principal.com/>

Finisterre Capital 社(Finisterre Capital LLP)について

2002 年に設立された Finisterre Capital 社は新興国債券に特化した資産運用会社です。機関投資家向けに、リスク管理に基づくトータルリターン戦略を提供しています。同社では、各国・政府債券、現地通貨建て債券、為替、社債、スペシャル・シチュエーション(special situations)、株式など新興国市場の多岐にわたるアセットクラスからなるファンドを運用しています。URL: <http://www.finisterrecapital.com/>

プリンシパル・グローバル・インベスターズについて

プリンシパル・グローバル・インベスターズは、プリンシパル・ファイナンシャル・グループの資産運用部門です。プリンシパル・グローバル・インベスターズは、株式、債券、不動産の 3 つの異なるアセットクラスの金融商品に加え、投資一任契約および投資顧問契約に基づく専門性の高い運用サービスを、世界の年金基金、機関投資家等のお客様に提供しています。プリンシパル・グローバル・インベスターズの運用資産総額は、2010 年 12 月末現在、2,324 億米ドル(約 19 兆円²)にのぼります。

URL: <http://www.principalglobal.com/> URL: <http://www.principalglobal.jp/>

- 1: 「The Principal Financial Group[®]」および「The Principal[®]」は、プリンシパル・ファイナンシャル・グループのメンバーであるプリンシパル・ファイナンシャル・サービスズ・インクの登録商標です。
- 2: 2010 年 12 月現在。1 米ドル=81.105 円で換算。

本資料は、情報提供を目的としており、特定の金融商品の推奨を目的とするものではありません。